



2021年7月30日

各位

会社名 株式会社 船場
 代表者名 代表取締役社長 八嶋大輔
 (コード番号：6540 東証第一部)
 問合せ先 執行役員
 経営企画・財務経理担当 秋山弘明
 (TEL. 03-6865-8195)

2021年12月期第2四半期累計期間及び通期の 連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年2月12日の決算発表時に公表いたしました業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正について

2021年12月期 第2四半期累計期間 (2021年1月1日～2021年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	9,800	6	10	△30	△2.93
今回修正予想 (B)	7,942	△250	△250	△217	△21.23
増減額 (B-A)	△1,858	△256	△260	△187	
増減率 (%)	△19.0	—	—	—	
(ご参考：前期実績) 2020年12月期第2四半期累計期間	12,458	516	537	343	33.94

2021年12月期 通期 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	22,000	500	510	410	40.08
今回修正予想 (B)	20,000	200	200	120	11.76
増減額 (B-A)	△2,000	△300	△310	△290	
増減率 (%)	△9.1	△60.0	△60.8	△70.7	
(ご参考：前期実績) 2020年12月期 通期	21,707	380	408	357	35.25

2. 修正の理由

(第2四半期累計期間の業績予想の修正理由)

2021年12月期 第2四半期累計期間における業績につきましては、国内では、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた2回目の緊急事態宣言が2021年3月をもって解除となり、経済活動や事業環境は緩やかに回復に向かうことを想定しておりました。第1四半期までは経済活動の低迷を受けつつも想定された範囲内で営業活動を推進することができましたが、第2四半期に入り、まん延防止等重点措置の適用及び緊急事態宣言の再発令の影響により、大型店及び物販・飲食専門店を中心とした従来顧客の投資抑制や計画延期・中止、それに伴う競争激化による案件獲得減少等、事業環境の大幅な変化の影響を受け17億円程の減収を見込むこととなりました。海外でも、事業展開する各国において新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたロックダウンや行動制限が散発的に実施されたことにより本格的な事業環境の回復に至っておらず1億円程の減収を見込むこととなりました。また、上記のとおり売上高の減少を見込んでいることから各段階利益におきましても減益を想定しております。以上の理由により、売上高及び各利益ともに当初業績予想を下回る見込みとなったため、上記のとおり修正いたします。

(通期の業績予想の修正理由)

2021年12月期 通期における業績につきましては、第3四半期以降は新型コロナウイルス感染症の影響は残るものの、ワクチン接種の拡大により経済活動の活性化も見込まれ、中止・延期されていた開発計画の再開や従来顧客の投資活動の再開も想定されていることから、期首業績予想から1億円程の売上高の減少を見込んでおります。しかしながら、第2四半期累計期間の減収減益の影響もあり、上記のとおり修正いたします。

なお、期末配当金につきましては、今期の業績はコロナウイルス感染症拡大による一時的な低迷と捉えており、来期以降は国内外ともに経済活動は活発化し、既に進行中の開発計画が多く見込まれることにより業績も回復基調を見込めること、また、現状の財務体質も安定を維持できているため、1株につき25円の予定で変更はありません。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性がありますので、ご承知おきください。

以上